

平成28年度第3回始良市地域公共交通会議 議事録

記録者	馬場 真の輔
-----	--------

日 時	平成28年12月26日(月)	時 間	午後2時00分～午後2時55分
場 所	始良市始良公民館 2階会議室		
出席者	会長(笹山義弘市長)、久保田委員、若松委員、齊脇委員【代理出席】、益満委員、永田委員、岩元委員【代理出席】、林委員、加治木委員【代理出席】、佐藤委員、中原委員、前田委員、木下委員、野島委員、徳永委員、竹田委員、山口委員、野口委員、古市委員、若月委員、深浦委員、仮屋委員【代理出席】、柳鶴委員、福留委員、脇田委員、恒見委員、上山委員、久保委員、木上委員、松元委員 事務局：地域政策課、社会福祉課 コンサル：(株)九州経済研究所		
議 長	会長(笹山義弘市長)		
資 料	平成28年度第3回始良市地域公共交通会議資料		
傍聴者	なし		

会議内容

(会次第)

1 開会

2 委嘱状交付

木下委員が平成28年11月9日より新たに委員として委嘱されたため、委嘱状を会長より交付。

3 会長あいさつ

4 議事

(1) 始良市の地域公共交通における現状と課題・問題点について

コンサル会社(株)九州経済研究所が会議資料に沿って説明。

委員 市民アンケートの質問項目において、現在の公共交通の満足度を利用実態のない市民まで尋ねた目的は何か？利用促進を図るとするならば、現在利用している市民に限った質問項目とすべきではなかったのか？

九州経済研究所

公共交通を考えるうえでは基礎データが必要となるが、現在、始良市には基礎デ

一タとなるものがなかったため、利用実態の有無に関わらない質問項目とした。現在は単純集計の結果だけしかないが、これから他の質問項目とクロス集計を行なうことで、より詳細な分析となる。

委員 始良市外からの通勤・通学者がいると資料にはあるが、始良市外からの通勤・通学者へはアンケート調査を行なったか？

九州経済研究所

通学者への調査は行なったが、集計結果の分析中である。

委員 ターゲットを絞った調査を行なうことが必要である。利用しない人の意見より、利用している人の意見を重点的に調査したほうが、利用促進は図れるのではないかと思う。

委員 現在の始良市の公共交通に関する問題点・課題点はアンケート結果を集計・分析することで表れるのか？

また、始良市の特徴的な問題点・課題点はあるのか？

九州経済研究所

問題点・課題点は調査結果を分析することで表れる。現在は分析中である。

しかし、一番の課題となるのは、中山間地域における交通手段の確保であるという認識はある。

事務局

始良市の課題としては、昨年度に設立された校区コミュニティ協議会を公共交通における小拠点として位置づけられるかどうかという点である。

委員 高校生に対するアンケートにおいて、通学方法を尋ねる質問項目がある。これは複数回答であるか？主たる通学方法というような表現が望ましいのではないか？

九州経済研究所

複数回答である。また、アンケートでは主たる通学方法も尋ねている。

(2) その他

事務局が今後の地域公共交通会議の予定について説明。

→委員からの質疑はなし。

5 閉会